

言語バー (IME)

パソコンに日本語で入力するのに必要な IME (Input Method Editor=文字入力ソフト) の操作についてご説明します。あなたの入力を元にもろーまじ入力ひらがな変換などで文字列を作成し確定してパソコンに入力します。日本語 IME には MS-IME、Google 日本語入力、ATOK などがありますが、それぞれ同じような操作です、ここでは MS-IME でご説明します。(操作を体験して元に戻せるようにしておきましょう)

1. IME ツールバー(以下言語バー)

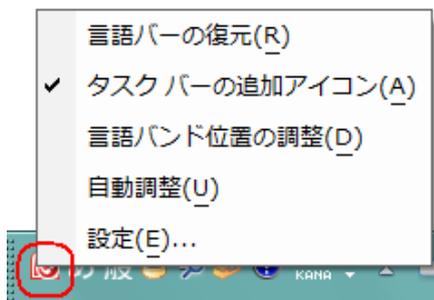
画面下のタスクバーに表示されている状態



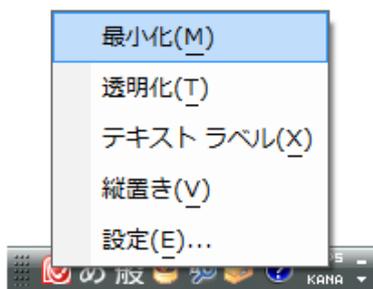
デスクトップ上に表示されている状態



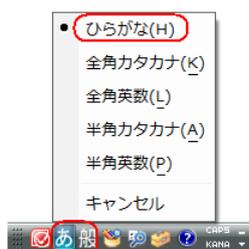
タスクバーにある言語バーの赤いマークの所を右クリックし「言語バーの復元」をクリックすると、デスクトップに表示されます



デスクトップにある「言語バー」の赤いマークを右クリックすると「最小化」がありますクリックするとタスクバーに表示されます



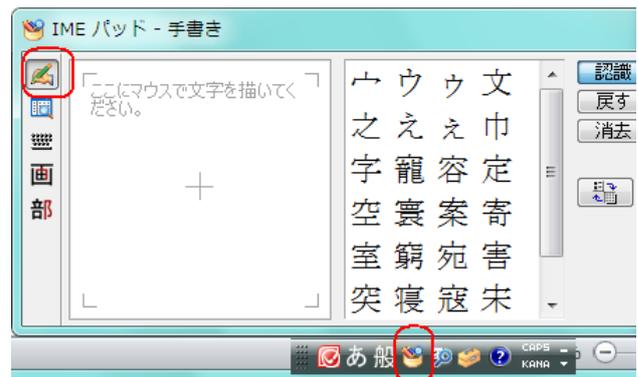
2. 変換モード



「あ」とあるのはひらがな変換です 普段はこの状態で使います 「般」とあるのは変換モード一般です、人名地名などに変更が出来ます

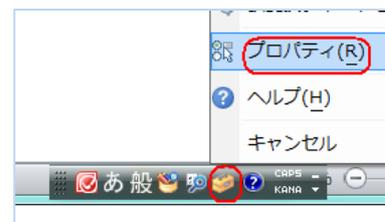
3. IME パッド

読みで出てこない時に部首で探す、またはマウスの手書きで探すなどの時に使います



4. プロパティ

「かな入力」から「ローマ字入力」に変更や辞書登録の時に使います、普段はローマ字入力 ひらがな変換が良いでしょう



5. 「あああ」と入力したら「ちちち」

これはカナ入力になってしまったのです、KANA のところが強調表示になっています、クリックすると解除され「あああ」が入力できます。



カナロック



カナロック解除